

発信日： 2009年12月1日

『Russell/Nomura 日本株インデックス』年次銘柄入替

Russell/Nomura Total Market インデックスへの初めての組入れは14件に

ラッセル・インベストメントと野村証券は、この度、Russell/Nomura 日本株インデックス・シリーズの定期銘柄入替を行いました。今回の入替で、全上場銘柄の時価総額（浮動株調整済み）の98%をカバーする Russell/Nomura Total Market インデックスに、14銘柄が初めて組入れられました。構成銘柄の詳細は、野村証券金融工学研究センターのホームページ（<http://qr.nomura.co.jp/jp/index.html>）をご覧ください。

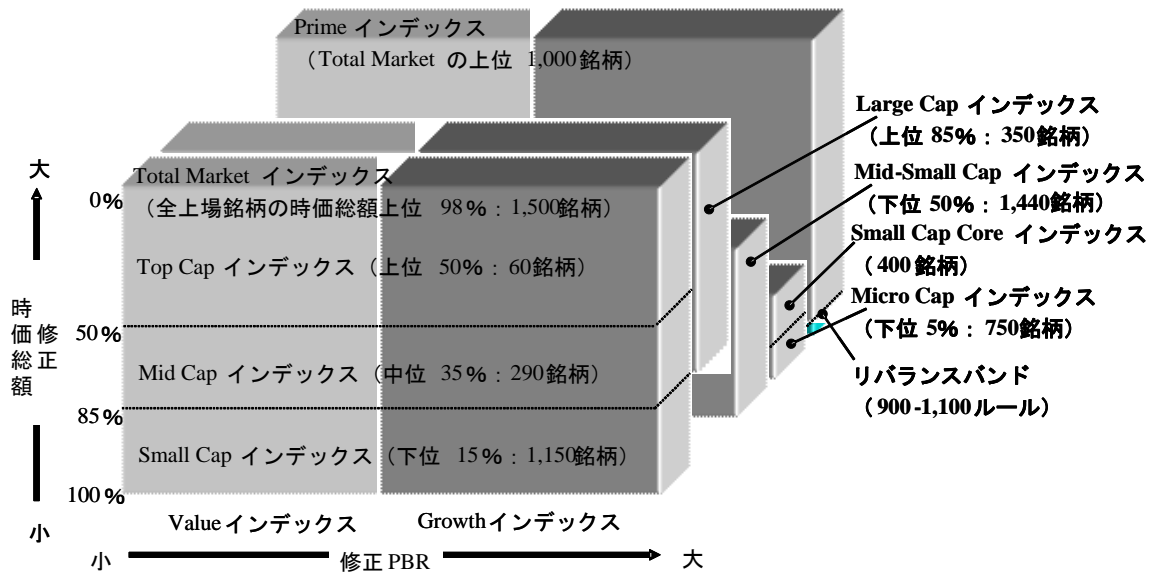
Value インデックスと Growth インデックスが大幅な入替に

今回の入替により、Russell/Nomura Total Market インデックスは全体で111銘柄増えて1,500銘柄となりました。32銘柄が除外、143銘柄が組入れられる中で、14銘柄が初めての組入れとなりました。一方、同インデックスの全体の時価総額は197.6兆円から197.2兆円にわずかに減少いたしました（2009年10月15日時点。時価総額は浮動株調整済み）。

Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額の上位85%で構成される Large Cap インデックスの構成銘柄は51銘柄多い350銘柄となりました。また、Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額の下位15%で構成される Small Cap インデックスの構成銘柄は60銘柄多い1,150銘柄となりました。時価総額規模の大小に関わらず市場全体の時価総額が減少した結果、両インデックスの構成銘柄数が増加いたしました（図表1）。

Total Value インデックスの構成銘柄は119銘柄が除外、154銘柄が組入れられ、Total Growth インデックスの構成銘柄は78銘柄が除外、232銘柄が組入れられました。Value インデックスと Growth インデックスの時価総額回転率はそれぞれ26.9%、27.0%となり、昨年よりは低いものの過去の水準に比べると高い回転率となりました（図表2）。業種別では、「輸送用機器」や「電機機器」などの株価が相対的に堅調な動きを見せた一方、「銀行業」や「電気・ガス業」、「証券、商品先物取引業」などが軟調な株価推移となったことで、Value および Growth インデックスの回転率が高まる結果となりました（図表3）。

図表1 Russell/Nomura 日本株インデックスの体系



(注) 2009年12月定期入替後。

図表2 2009年12月定期入替サマリー

	採用銘柄数					時価総額構成比率			回転率 片側
	入替前	入替後	差	OUT	IN	入替前	入替後	差	
Total	1,389	1,500	111	32	143	100.0%	100.0%	-	1.7%
Value	1,104	1,139	35	119	154	51.3%	48.7%	-2.5%	26.9%
Growth	515	669	154	78	232	48.7%	51.3%	2.5%	27.0%
Large	299	350	51	10	61	83.1%	85.9%	2.8%	4.3%
Value	197	224	27	35	62	38.8%	39.0%	0.2%	32.0%
Growth	181	238	57	26	83	44.3%	46.9%	2.6%	28.8%
Small	1,090	1,150	60	93	153	16.9%	14.1%	-2.8%	22.2%
Value	907	915	8	126	134	12.5%	9.7%	-2.8%	27.9%
Growth	334	431	97	83	180	4.5%	4.4%	-0.1%	39.1%
Prime	994	1,000	6	30	36	97.8%	97.6%	-0.2%	1.5%
Value	771	732	-39	97	58	49.6%	47.0%	-2.6%	27.4%
Growth	409	509	100	63	163	48.3%	50.6%	2.4%	27.0%

(注) 時価総額構成比率の計算は2009年10月15日の株価による。

回転率は「 Σ | 入替前時価総額比率 - 入替後時価総額比率 | / 2」より算出。

図表3 Russell/Nomura スタイル指数の業種別時価総額ウェイトの増減

	Total Value	Total Growth	Large Value	Large Growth	Small Value	Small Growth
水産・農林業	0.0%	0.0%	—	—	0.0%	0.3%
鉱業	0.1%	-0.1%	0.2%	-0.1%	-0.4%	0.0%
建設業	0.3%	-0.1%	0.3%	-0.1%	0.9%	-0.8%
食料品	0.0%	-0.1%	-0.3%	0.4%	1.6%	-4.8%
繊維製品	-0.5%	0.5%	-0.2%	0.5%	-1.0%	0.3%
パルプ・紙	0.1%	-0.1%	0.2%	-0.1%	0.0%	-0.2%
化学	-1.1%	1.2%	-0.7%	1.5%	-1.8%	-1.5%
医薬品	0.1%	-0.5%	0.2%	-0.7%	-0.3%	0.9%
石油・石炭製品	-0.1%	0.1%	-0.1%	0.1%	-0.4%	0.1%
ゴム製品	-0.3%	0.3%	-0.4%	0.4%	0.2%	0.0%
ガラス・土石製品	-1.0%	1.0%	-1.4%	1.2%	0.7%	-0.5%
鉄鋼	-1.6%	1.3%	-1.8%	1.5%	-0.6%	-1.2%
非鉄金属	-1.3%	1.3%	-1.1%	1.3%	-1.8%	0.7%
金属製品	-0.4%	0.4%	-0.3%	0.5%	-0.4%	-0.7%
機械	-1.8%	1.7%	-1.9%	1.7%	-0.9%	2.0%
電気機器	-6.1%	5.8%	-7.1%	6.1%	-3.5%	2.0%
輸送用機器	-8.0%	8.2%	-10.5%	8.6%	-0.9%	3.6%
精密機器	0.0%	-0.1%	0.1%	-0.2%	0.1%	1.0%
その他製品	0.0%	-0.1%	-0.1%	0.0%	0.5%	-1.0%
電気・ガス業	3.3%	-3.2%	3.9%	-3.6%	0.1%	0.1%
陸運業	1.2%	-1.4%	1.5%	-1.5%	0.3%	-0.9%
海運業	0.2%	-0.2%	0.2%	-0.2%	0.1%	0.0%
空運業	0.3%	-0.3%	0.3%	-0.3%	—	—
倉庫・運輸関連業	0.0%	0.0%	0.0%	—	0.2%	0.1%
情報・通信業	1.5%	-1.8%	1.8%	-2.3%	0.3%	3.1%
卸売業	-0.3%	0.8%	-0.8%	0.9%	1.3%	-0.2%
小売業	1.3%	-1.4%	1.6%	-1.2%	0.9%	-2.8%
銀行業	9.6%	-8.8%	11.2%	-9.7%	3.6%	-0.4%
証券、商品先物取引業	2.3%	-2.3%	2.9%	-2.5%	0.2%	0.1%
保険業	2.1%	-1.9%	2.5%	-2.1%	0.1%	—
その他金融業	0.0%	0.0%	-0.2%	0.1%	1.0%	-1.0%
不動産業	0.2%	-0.1%	0.4%	-0.4%	-0.3%	2.0%
サービス業	-0.3%	0.2%	-0.2%	0.3%	0.0%	-0.4%

(注) 2009年10月15日の株価による。水色帯は Growth 指数のウェイトが1%以上増加した業種、緑色帯は Value 指数のウェイトが1%以上増加した業種を表す。

Russell/Nomura Prime インデックスへの初めての組入れは19件に

Russell/Nomura Prime インデックスは機関投資家のパッシブ運用のベンチマークとして開発されたインデックスであり、Russell/Nomura 日本株インデックスの時価総額上位1,000銘柄で構成されるサブインデックスです。今回の定期入替で初めて上位1,000銘柄に採用された銘柄は19銘柄となりますが、同インデックスの時価総額は193兆円から192兆円へとわずかに減少しています(2009年10月15日時点。時価総額は浮動株調整済み)。同インデックスの時価総額回転率は1.5%と、昨年が続いて低い水準となりました。

新たに採用された19銘柄について見ると、「小売業」が5銘柄と最も多く、「情報・通信業」が3銘柄、「電機機器」が2銘柄と続いています。

Russell/Nomura 日本株インデックスについて

1995年、野村証券とラッセル・インベストメントは、資産運用の運用実績を測定するツールとして「Russell/Nomura 日本株インデックス」を共同開発しました。当インデックスは、浮動株修正時価総額を基準に日本の市場に上場されている普通株式で構成されています。浮動株修正時価総額上位 98%の銘柄で構成される Russell/Nomura Total Market インデックスを中心に、そのサブインデックスを含むシリーズとなっています。

当インデックスでは、株式市場の変化を反映させるため、年一回 12 月第一営業日に構成銘柄の定期入替を実施しています。構成銘柄は、10 月 15 日時点の浮動株修正時価総額によって順位付けされます。

定期銘柄入替後、合併・買収やその他の事由によって当インデックスから銘柄が削除される場合においても、次回の定期銘柄入替まで補充されることはありません。従って、各インデックスへの組入れ銘柄数は、年中に変動します。臨時で追加が行われるのは、スピンオフおよび新規上場によって大幅に構成比が低下する場合にかぎります。

ラッセル・インベストメントについて

ラッセル・インベストメントは、現在世界 46 カ国において、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っており、現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約 16 兆円※となっています。グループの創立は 1936 年。米国ワシントン州タコマを本拠地とし、米国最大手の個人生命保険会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランスの子会社です。日本においては 1986 年に東京オフィスを開設。現在、ラッセル・インベストメント株式会社を通じて各種サービスを提供しています。詳しくは www.russell.com/jpii をご覧ください。

(※ 2009 年 9 月 30 日現在)

野村証券株式会社について

野村証券株式会社は、野村ホールディングス株式会社を持株会社とする金融サービスグループ「野村グループ」のコア業務である証券業務を担う中核会社です。国内で展開する本支店数は 172 (2009 年 11 月 30 日現在)。野村証券に関するより詳細な情報は <http://www.nomura.co.jp/> をご覧ください。なお、「野村グループ」に関する IR 情報やニュースリリースなどは、野村ホールディングスのサイト <http://www.nomura.com/jp/> にて掲載しております。

お問い合わせ先:

ラッセル・インベストメント

【米国窓口】

Russell Investments
PR 担当: Steve Claiborne
TEL: US, 253-439-1858
E-mail: newsroom@russell.com

【日本窓口】

ラッセル・インベストメント株式会社
クライアント・コミュニケーション・サービス部
マーケティングチーム
TEL: 03-5411-3790
Email: Tokyo-RIJ@russell.com

野村証券株式会社 金融工学研究センター

インデックス・プロダクツ・グループ

TEL: 03-3274-0924

E-mail: idx_mgr@frc.nomura.co.jp